

シリーズ

“キラリ企業”

の現場から 第60回

公社の支援サービスをご利用いただいている元気企業を紹介する“キラリ企業”の現場から。第60回目は、日商簿記検定を主軸にした資格試験受験用書籍の出版及びインターネットを利用した資格試験受験対策講座を運営するネットスクール株式会社(千代田区神田錦町)をご紹介します。同社は中小企業事業化支援ファンド運営事業(注)を利用しています。

万人の飛躍の翼を目指して

ネットスクール株式会社

■企業理念は教育機会の平等化

ネットスクール(株)は桑原知之社長がかねてより描いてきた理念を実現させるべく、平成12年2月に設立された企業である。

桑原社長は母子家庭で育った。経済的に余裕はなかったにもかかわらず、私立大学に通わせてくれた母に対する恩義は片時も忘れたことはない。大学在学中に日商簿記検定1級に合格。税理士試験も2科目に合格し、大学生の身でありながら資格試験受験予備校で講師を務めることができた。その後も講師を続けながら、税理士資格を取得した。

「大学や資格が全てではない。しかし、それらが人生のステップアップの一助になるのは疑いようのない事実だ」と桑原社長は語る。

資格試験に挑戦する際、多くの受験生は予備校を活用する。予備校は過去から蓄積してきたノウハウを十分に活かして指導を行うために、受講生は効率よく学習を進めることができるからだ。

しかし、予備校に通うには費用がかかる。その負担は決して軽くない。また、こうした予備校は大都市に集中して立地しており、地方中小都市に居住する人たちにとっては利用が難しい。

意欲さえあれば誰でも資格試験に挑戦することができるはずであるのに、経済的状況、居住地域などによって享受できる学習環境の質には歴然とした格差がある。

結果においての不平等は許される。しかし、機会においての不平等は断じて許されない。桑原社長は自身の理念にてらし、こうした現実を是正する必要性を感じていた。

良い方法はないだろうか。

桑原社長が出した答えは良質な受験用書籍の出版だった。書籍ならば日本全国どこでも、誰でも、比較的安い価格で手に入れることができる。自身が予備校講師として長年培ってきた受験ノウハウを満遍なく書籍に落とし込めば、全国の人たちに平等でかつ良質な教育機会を提供することができるはずだと考えたのである。



桑原社長と社員

同じ予備校に勤務する同僚2人も桑原社長の理念に深く共鳴した。3人は理念を実現すべ

く平成12年2月に会社を設立して、事業を始めた。これがネットスクール(株)である。共同設立者である2人は現在、同社の専務取締役、常務取締役である。

同社が誇る日商簿記検定受験用書籍の2大看板シリーズは「とおるシリーズ」、「サクッとシリーズ」である。入念な試験問題研究を行い、読者を合格に導く書籍作りを心がけていることはもちろんであるが、読者が電話で質問できる仕組みも導入するなど、徹底した読者目線を貫いている。

これまで着実に読者の信頼を勝ち得、今では書店の資格試験受験書籍コーナーには、必ずといってよいほど同社の書籍が並んでいる。企業の知名度こそ低いものの、出版書籍は大手資格試験受験予備校の出版物と堂々と伍しているのである。

■ ネットインフラが可能にした 新たなサービス

しかし言うまでもなく書籍による学習は独学が前提である。このため書籍だけでは独学を苦手とする人たちに、十分な教育機会を提供できない。また、学習は視覚だけではなく聴覚も併せて活用することにより効果を高めることができるが、書籍は視覚情報しか提供できない。

こうした問題に対処するため、同社は平成19年よりインターネットを使った受験対策講座の運営に取り組んできた。設立当初の環境では取り組みが難しかったが、その後国内で急速に進んだ通信インフラの整備がこれを可能にした。

かくして同社は「教育機会の平等化」の実現により近づく新たな武器を手中に収めることができたのである。

同社の提供するWeb講座の最大の特徴は完全生中継である点だ。桑原社長をはじめとする選りすぐりの講師陣による質の高い講義がリアルタイムで個人のパソコンに送られる。

理解できない箇所があれば、受講生は即座にチャットシステムを使って質問を投げかけることができる。投げられた質問には同社サポートスタッフが即座に的確な答えを返す。



web講座スタジオ風景

このようにして、受講生はあたかも実際の教室にいるかのようにインターネット上で講義を受けることができるのである。もちろん

講義時間の都合がつかない場合、受講生は講義の録画映像を後日インターネットで視聴できる。

教室を持つ必要がないことから受講生に割安価格でサービスを提供できる点も、大手受験予備校にはない強みとなっている。

なお、東日本大震災にあたっては被災したWeb講座受講生に対し、いち早く全額返金を実施したうえ、返金後も無料で受講を継続できるようにした。より高みを求めて挑戦しようとした受講生の意欲を、失わせることがあってはならないとの同社の気持ちからである。

■ 公的ファンドの活用

同社は平成23年6月、当公社の運用する東京都中小企業事業化支援ファンドの投資を受け入れた。

本ファンドは、同社が平成19年より取り組んでいるWeb講座運営事業を将来性有望な事業であると判断し、約5,000万円の投資を実行した。

本ファンドは資金提供にとどまらず、積極的なハンズオン支援を売りとしている。当公社は本ファンドの運営者として、今後も様々な支援メニューを使って同社のWeb講座運営事業の成長を積極的に支援していく。

桑原社長も「このファンドは公社がバックアップしてくれることが大きな魅力です」と話す。

■ 理念実現への飽くなき挑戦

昨年から出版業界には電子書籍の波が本格的に押し寄せ始めている。同社は出版社として、この波に抗うことなく、むしろ積極的に利用していこうという気構えで臨んでいる。

「単に紙の本を電子書籍化するのならば電子書籍の意味は薄い。当社は電子書籍だからできることを訴えていきたい」



電子書籍

桑原社長が意気込みをこう語るように、同社の電子書籍には動画が埋め込まれていたり、理解が不足している箇所だけを抽出する機能を搭載するなど、紙の書籍では実現不可能な価値が付加されている。

技術や環境の変化を着実に捉え、理念実現に向けて活かしていく同社の挑戦は歩みを止めない。

(企画課 西口貴憲)

(注) 中小企業事業化支援ファンド運営事業:平成18年12月に東京都、地域金融機関及び公社が出資を行って組成された投資ファンドを管理し、有望な新規事業に取り組む都内中小企業に投資を行う。これまでのところ18社に対して投資を行っている(平成23年8月現在)。

企業名: ネットスクール株式会社
 代表者: 桑原 知之
 資本金: 6,008万円 従業員数: 49名
 本社所在地: 東京都千代田区神田錦町3-23
 西本興産錦町ビル3F
 TEL: 03-6823-6458
 FAX: 03-3294-9595
 URL: <http://www.net-school.co.jp/index.html>